

季節風

2015.10.15

No.21

山鹿市立鹿北中学校

文責：郡 一路

熊本県人権子ども集会

十月十日(土)、パークドームにて、県人権子ども集会が行われました。県内の小中高生の多くが参加し、代表生徒及び学校が、意見発表等を行いました。県内からこれだけの小中高生が集まり、人権について考える機会があることは、すばらしいことです。そして、いじめや差別をなくすという同じ思いの「なかま」が、これだけいるというのは、とても勇気づけられます。集会に参加した一人一人が、それぞれの学校や地域に戻って、集会で感じたことを考えたことを伝えていきます。



鹿北中でも、参加した人が伝えてくれたことを大切に、さらに笑顔あふれる学校にしていきたいと考えています。裏面に、集会のアプリル文があります。ぜひ読んで下さい。

ラグビー日本代表

ラグビー日本代表の活躍は、本当に感動しました。南アフリカを撃破した世紀の番狂わせ、低いタックルの連続、五郎丸選手のキック……。

ラグビーの魅力をあらためて感じた人も多かったと思います。「ノーサイドの精神」、「One for all, all for one」などのラグビー文化は、今の時代だからこそ大切にしたいものです。五郎丸選手が言っていた、「ラグビーには、ヒーローはいらない、チームみんながヒーロー。」いい言葉ですね！

〈集会に参加して〉

互いを理解して、差別をなくしていくことができると思います。……(中略)……鹿北中にも、差別をなくすための宣言があります。普段はあまり見ることがないので、学校のみならず、守れているのかと思いました。

(二年 田中 優奈)

これからの学校

人口減少、少子高齢化が進む中、教育は、地域社会を動かすエンジンとなる人を育て、そして、学校は、子どもの学びや遊びの場だけではなく、地域コミュニティの核としての役割を果たすことが求められます。

たくさんの方々が気軽に学校に来て、生徒と交流したり、時には一緒に昼食を食べたり、ゲームをしたり……。学校が、地域の方々や生徒・教職員とのコミュニケーションの場となっていくます。

地域の方々との交流を通して、生徒が人間的に成長し、さらには、自尊感情の涵養につながっていく、そんな学校が増えていきます。鹿北中も例外ではなく、地域との連携をさらに強めていきます。

